

保証時報

2025

8

Vol.769



P 01 信用保証協会ニュース

- 「国際フロンティア産業メッセ2025」に出展します
- JICAセミナーの参加者(11か国、11名)が来会されました
- 当協会のSDGsトピックス
- 「兵庫県地域支援金融会議 担当者会議」を開催しました
- 商工組合中央金庫と共同勉強会を開催しました
- 暴力団等排除対策会議を開催しました
- 景気動向調査の結果をお知らせします

P 05 金融機関インタビュー

P 07 未来にチャレンジ ひょうごビジネスFile

高丸工業株式会社

P 06 私たちのふるさと 兵庫の誇り ひょうご芸術散歩

P 09 保証状況

 **兵庫県信用保証協会**
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

LINE、X、Instagramによる情報発信をしています!!

右のQRコードをお読みいただき、お友達登録やフォローをお願いします。



LINE



X



Instagram

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



信用保証協会は、中小企業のみなさまが事業資金の融資を受けられる時に、公的な立場でバックアップいたします。

「国際フロンティア産業メッセ2025」に出展します

9月4日、5日、神戸国際展示場で西日本最大級の総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2025」が開催されます。

本メッセは、企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品が展示されるとともに、各種講演やセミナー、交流会など多彩なプログラムが展開され、毎年多くの方の来場があります。

当協会は、多くの方々に保証協会の業務内容をご理解いただくため、毎年本メッセに出展しており、今年度もパネルやデジタルサイネージによる展示やパンフレットの配布を通して信用保証の仕組みや各種保証制度の紹介を行います。

また、当協会をご利用いただいている事業者23社によるグループ出展を行い、ビジネスマッチング等の支援を実施します。

ご来場の際はぜひ当協会のグループ出展ゾーンにお立ち寄りください。詳細につきましては、経営支援部 支援統括課(Tel. 078-393-3920)までお問い合わせください。

日時

2025年

9月4日(木)・5日(金)

10:00 ~ 17:00

会場

神戸国際展示場1・2号館

(神戸ポートアイランド/神戸市中央区港島中町6-11-1)

入場料
無料

● 予定出展者数

500社・団体以上(見込み)

● 予定来場者数

15,000人以上(見込み)

● 主催

国際フロンティア産業メッセ実行委員会



保証利用企業への出展支援について

当協会は、経営支援の取組の一環として、公募により選定した兵庫県下の保証利用企業に対する出展支援を毎年行っています。今年度は、**23社**の企業に対して出展支援を実施します！

出展支援企業
一覧

アイ・エイ・ジェイ(株)/アリエンタ(株)/イゲタ産業(株)/NGM(株)/(有)エルフ/(株)キタモト
テック/(株)栗山化成工業所/(株)シンクチューブ/(株)千代木工/センツフェス(株)/Social
Bridge(株)/(株)ソプラ・クリエーション/(株)大進精機/大東化学(株)/ダイヤホワイト(株)/
竹内電機(株)/(株)土田商事/(株)D&D/(株)PITTAN/(株)Bit peeps/(株)Prob
lem Solving/丸菱石鹸(株)/(株)ONE LIVE

(五十音順)

News

02

JICAセミナーの参加者(11か国、11名)が来会されました

7月14日、開発途上国で中小企業振興に携わる行政官等が日本の中小企業振興政策・施策について学び、職務の能力強化を図ることを目的として開催される、独立行政法人国際協力機構(JICA)主催の「2025年度 中小企業振興政策(A)研修」の参加者が来会されました。

当協会では、平成23年度から毎年、本研修での講座を担っており、今回で12回目となりました(コロナ禍により、令和2年度から同4年度はオンデマンドでの開催となり資料提供のみの実施)。

当日は、キューバ共和国、エジプトなど11か国、11名の方に向け、当協会職員が日本の信用保証制度の仕組みや保証協会の概要について講義を行い、エールを送りました。



当協会の

SDGs トピックス

「2025年度 初夏クリーン作戦」に参加しました

6月12日、旧居留地連絡協議会が主催するクリーン作戦が行われました。

この活動は、旧居留地で働く方々が協力して清掃活動を行うもので、年に数回実施されています。

旧居留地に本所ビルを有する当協会も、この活動に毎回参加し、美しい神戸の街並みの維持に貢献しています。

今後も、このような活動を通じて、SDGs達成に向けた取組を進めてまいります。



本取組がSDGs達成に
繋がるゴール



News

03

「兵庫県地域支援金融会議 担当者会議」を開催しました

7月16日、兵庫県の中小企業支援ネットワーク「兵庫県地域支援金融会議」の担当者会議を開催し、21の金融機関、支援機関が参加しました。

当日は、各機関から経営支援などに係る実務に即した情報発信や支援事例の紹介等がありました。

今後も、本会議等を通じて中小企業・小規模事業者の皆さまに対する金融と経営の一体的支援を積極的に行ってまいります。



News

04

商工組合中央金庫と共同勉強会を開催しました

7月7日、当協会と商工組合中央金庫は、連携して事業者支援を行い地域経済の活性化に貢献するため、「業務連携・協力に関する覚書」に基づいた業務連携に係る情報交換および共同勉強会を開催しました。

当日は、商工組合中央金庫の職員14名、当協会の役職員13名が出席し、融資・保証の制度や経営支援に関する取り組みについて情報共有と目線合わせを行い、事業者への支援に協力して取り組んでいくことを確認する良い機会となりました。

現在、原材料価格の高騰や深刻な人手不足等、事業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、当協会は今後も金融機関や関係機関と連携を深め、資金繰りと経営改善の一体的な支援を積極的に展開してまいります。

News

05

暴力団等排除対策会議を開催しました

7月11日、暴力団等排除対策会議を開催しました。

当日は、兵庫県警本部の田中警部から最近の暴力団情勢などについてご説明いただいた後、暴力団等の反社会的勢力の排除に向けた連携強化等について、情報共有や意見交換を行いました。

当協会は、今後も反社会的勢力等には毅然と立ち向かい、一切の排除に努めてまいります。



News
06

景気動向調査の結果をお知らせします ～景況感の悪化が見られるも改善の見込み～

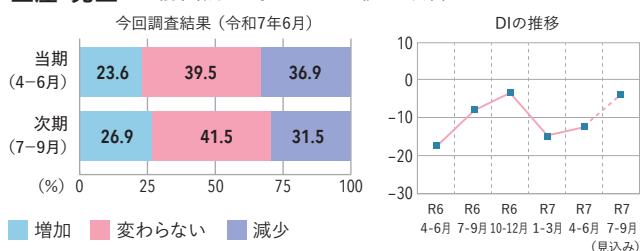
令和7年6月の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

調査要領

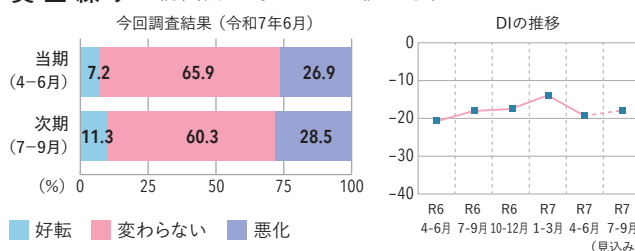
- ① 調査時点：令和7年6月 ② 調査方法：無記名、Web方式
③ 調査対象：3,000事業者 ④ 有効回答数：390(回答率13.0%)
※ 本調査は四半期ごとに当協会の保証利用企業を対象に実施しています。

現在と今後の景況、借入難易感について

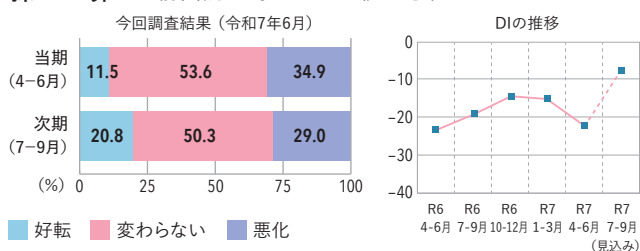
生産・売上 前回調査時に比べDI値は改善



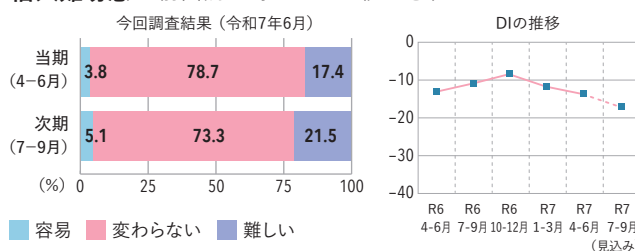
資金繰り 前回調査時に比べDI値は悪化



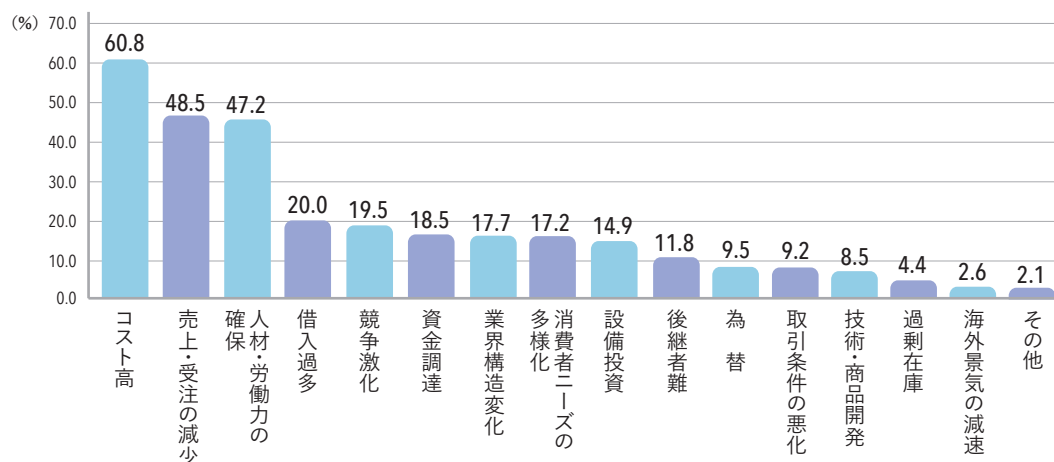
採算 前回調査時に比べDI値は悪化



借入難易感 前回調査時に比べDI値は悪化



当期(4-6月)のDI値は、前期(1-3月)に比べ「生産・売上」において改善し、「採算」「資金繰り」「借入難易感」において悪化しました。次期(7-9月)のDI値は、当期(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」において改善し、「借入難易感」において悪化する見込みとなっています。

経営上の課題
(複数回答)

経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっており、次いで、「借入過多」「競争激化」「資金調達」の順となっています。

景気動向調査にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご回答いただいた結果を踏まえ、信用保証制度の適切な運営に取り組んでまいります。なお、調査内容の詳細につきましては、当協会のホームページにて公表しています。ホームページアドレス ☒ <https://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

※ 構成比の数値は、小数点第2位を四捨五入したものです。そのため、個々の構成比の合計が100%にならない場合があります。



data

但馬信用金庫 日高支店

〒669-5301
豊岡市日高町江原160-3
☎ 0796-42-1301

▲ 但馬信用金庫 日高支店
支店長 新澤 公平 様

question

1 貴店の歴史や周辺地域に関して教えてください

但馬信用金庫の創業は1924年8月で、2024年には、100周年を迎えました。日高支店が開設されたのは1951年8月のことで、地域に根ざした信用金庫としてお客様との心の距離が近く、身近な相談相手となれるように心がけています。また、管轄エリアの豊岡市日高町には、四季を通じて楽しめる神鍋高原をはじめ、「植村直己冒険館」、劇作家平田オリザ氏が率いる「青年団」の拠点「江原河畔劇場」があります。同劇場は毎秋、「豊岡演劇祭」の会場であり、まちぐるみで演劇イベントを盛り上げるなど活気に満ちています。

question

2 地域とのつながりを大切にするために取組んでいることを教えてください

店内に、地域の方が描いた絵などの作品を飾るスペースがあります。制作者をまとめるリーダーがおられ、3ヶ月に1度、展示作品が変わります。作品が変わるたびに店内の雰囲気も変わり、お客様からも好評をいただいています。

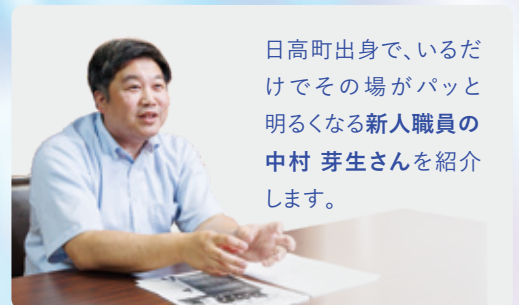
question

3 保証協会の融資商品で実現できた企業支援、経営サポートを教えてください

昨年と今年度、「創業関連保証」を活用して開業を実現した事例をご紹介します。1つは鉄板焼き店です。事業計画書の作成から各種手続きなど、若手職員を巻き込んで行いました。プレオープンの際は店舗に出向き、オペレーションやメニューの確認をしたところ「ここまでしてくださるんですね」と喜んでおられました。もう一つは、美容室を開業したいというご相談でした。不動産オーナーとのマッチングを行ったところ「理想的な場所に店を構えることができた」と喜んでくださいました。これからもお客様の発展のためにできることに全力で取り組んでいきたいと思っています。

新澤支店長

「イチ推し! 職員」



日高町出身で、いるだけでその場がパッと明るくなる新人職員の
中村 芽生さんを紹介
します。

高校時代、進路に悩んだとき先生から「金融機関が向いているのでは」とアドバイスを受けて但馬信用金庫本店の見学に行きました。先輩職員の仕事に対する熱意に触れて心が決まりました。日高支店に配属され、出納の業務を覚えながら、ときどき窓口業務を担当しています。窓口業務のときに困ったことやわからないことがあると、先輩が気配を察してサポートしてくださいます。一日も早く仕事を覚えて、先輩のようになりたいと思っています。特技はスキーと空手です。スキーは小学、中学とアルペンスキー競技を習っていて、空手は幼稚園時代から道場に通り、今は黒帯です。休日に身体を動かしてリフレッシュすることも大事だなと感じています。

日高支店
中村 芽生 様



淡路市編

Awaji City

極上の見物席から四季の花が見物できる
あわじ花さじき



©あわじ花さじき

1998年にオープンしました。淡路島北部丘陵地頂上部から海に向かって広がる高原に四季の花が咲き乱れます。頂上からの眺めが極上の見物席の様で「あわじ花さじき」と命名されました。



古事記、日本書紀に創祀の起源が記されている日本最古の神社

伊弉諾神社

古事記、日本書紀に創祀の起源が記されてる、神代の昔の最初の夫婦神イザナギノミコトとイザナミノミコトを祀る最古の神社です。



弥生時代後期の貴重な遺跡 五斗長垣内遺跡

1800年から1900年前の弥生時代後期に鉄器づくりを行っていたムラの跡。23棟の竪穴建物跡があり、そのうちの12棟で鉄器づくりを行っていたことがわかっています。2012年、国史跡に指定されました。



淡路島の人気観光スポット

淡路ワールドパークONOKORO

ミニチュアで造られた世界の名所を船で巡るワールドクルーズが楽しめる人気の観光スポットです。ピサの斜塔や凱旋門など、25分の1のスケールで精巧に造られた世界遺産は、見る人を感動の世界に引き込みます。

淡路島の魅力に会える!

淡路ハイウェイオアシス



「御食国」淡路島のおいしい!を味わう6つのレストランと、島内最大級の品揃えのお土産店を擁する人気のスポットです。蛇口から出る玉ねぎスープが無料で試飲できます。明石海峡大橋を渡ってすぐというアクセスも良好な施設です。



「幻の牛肉」の別名を持つ旨みたっぷりの牛肉

淡路ビーフ

瀬戸内ならではの日の光を浴び、潮風が運ぶミネラルを含んだ大地で育った淡路島の牛は旨みがたっぷり。なかでも淡路ビーフと命名されるのは、年間約200頭のみで「幻の牛肉」ともいわれています。

ひょうご 芸術散歩

兵庫県の風景を描いた芸術作品と作者を紹介する「ひょうご・芸術散歩」。今回は、淡路島を描いた「淡路遠望」と、作者の川端 謹次画伯を紹介します。



【淡路遠望】1952年／神戸ゆかりの美術館蔵

瀬戸内海に浮かぶ船が静けさを伝える 「淡路遠望」

「水と水を取り巻く大気と空間の表現」をテーマに、各地の水辺の風景を描き続けた川端画伯の「淡路遠望」は、手前に広がる田園風景と遠方に霞がかかったように見える淡路島とのコントラストが美しい作品です。田園と淡路島を隔てる瀬戸内海に浮かぶ数隻の船が、静けさと穏やかで明るい瀬戸内の気候を感じさせます。淡路島の姿から須磨もしくは垂水周辺の高台からの描写ではないかと思わせる写実性も魅力。今はもう田園は姿を消しているでしょうが、聖地巡礼のように川端画伯がキャンパスを立てた場所を探してみるのも楽しいのではないのでしょうか。

川端 謹次

かわばた・きんじ
1909年～1998年

兵庫県水上郡(現・丹波市)出身。東京美術学校(現・東京芸術大学)に入学し、藤島武二教室で学ぶ。戦後は、兵庫県立長田高等学校で教鞭を執りながら、神戸をはじめ各地の水辺の風景画の制作に取り組んだ。



PC遠隔操作溶接ロボットシステム WELDEMOTO®で未来への新たな一步を踏み出す

》 多品種少量生産のためのツール 産業用ロボット

西宮を本拠地とする高丸工業株式会社は、設計を中心とした事業に取り組む事業者として1963年に創業した。1970年代からは産業用ロボット関連事業に力を入れて成長を遂げ、2024年には難しい溶接を、離れた場所から、誰にでもできるようにした「PC遠隔操作溶接ロボットシステムWELDEMOTO®(以下/遠隔操作溶接ロボットシステム)」を世に送り出し、注目を集めている。

現在、主に産業用ロボットを導入しているのは、自動車や家電の大量生産を手がけている大手企業で、導入企業の90%以上を占めている。そのため「産業用ロボットは、大企業が大量生産のために導入するツール」というイメージが浸透している。ところが、そもそも産業用ロボットは、プログラムを入れ替えて使用し、多品種少量生産を実現するためのツールとして開発されたものだ。本来の活用とは異なる活用方法が浸透した要因は、産業用ロボットのプログラムの入れ替えが難しく手間がかかるため、最初に設定したプログラムで稼働させ続けているケースが多いことにある。同社専務取締役の高丸 泰幸さんは「プログラムの入れ替えを今まで以上に簡単にすれば、多品種少量生産に取り組む中小企業の産業用ロボット導入が進むでしょう。日本の経済を支えているのは中小企業ですから、そうすると日本の産業発展、経済成長につながると考えます。実は、弊社の『遠隔操作溶接ロボットシステム』は、難しい溶接を、どこからでも誰にでもできるようにしたツールであると同時に中小企業の産業用ロボット導入の起爆剤でもあります」と語る。

》 難易度の高い溶接を、離れた場所から 誰にでも簡単にできる技術へ

溶接は、被溶接材と呼ばれる母材をアーク熱、電子ビーム、レーザーなどの熱を用いて加熱し、母材と溶接棒、ワイヤなどの溶接材を融合させてできた熔融金属を凝固させて接合させる技術で、建築物、橋、容器、ガスや石油などのパイプライン、船、発電設備など金属材料の接合に欠かせない。泰幸さんは「溶接は、高度な職人技が求められる

ため、誰にでもできるわけではありません。『遠隔操作溶接ロボットシステム』は、パソコン上の画像でワークを指示するだけで、ロボットが難しい溶接作業を実行します。しかも作業指示は現場から離れた事務所など、どこからでも、誰にでも、簡単にできるため、安全というメリットもあります」と語る。

同社が「遠隔操作溶接ロボットシステム」の開発に取り組んだのは、泰幸さんの父であり同社の代表である高丸 正さんが、複数の器機や装置、ソフトウェア、システムなどが互いに制御、管理しながら作動する「マスター/スレーブ方式」の研究者に出会ったことがきっかけだ。その研究者は「溶接は難しい技術だが、この方式が実用化できれば誰にでも簡単にできるようになる」と語った。正さんは考えた。「この技術が実用化できれば、溶接という特殊な技術、技能を補う産業用ロボットができる。一日も早く実用化したい」。2010年、正さんが指揮を取り、産学協同で技術開発に取り組んだが思うような成果は出ず時間が過ぎた。泰幸さんが入社したのは開発から10年を経た2020年だ。入社後は、先輩社員と共に現場でのづくりをしながら「遠隔操作溶接ロボットシステム」の開発担当になった。

泰幸さんが開発担当として試行錯誤を繰り返していたある日、正さんが「画像化するためのカメラを増やし、可視化できる場所を増やしてはどうか」と言った。

「このアイデアを受けて実験を繰り返した結果、実用化が実現しました。2023年、展示会で発表したところ、自動車メーカーなど約20社から声がかかり手応えを感じました」。

》 目指すのは「産業ロボットのプラットフォーム構築」

長い年月を経て、ようやく産声を上げた「遠隔操作溶接ロボットシステム」だが、泰幸さんは「これからが本当の勝負」と言う。

「『遠隔操作溶接ロボットシステム』は、パソコンのOSと実行を指示するアプリケーションが合体したものです。OSは、どこからでも、誰にでも、簡単にロボットを動かすことができる技術で、アプリケーションは溶接をする技術です。重要なのはOSで、完成度が上がれば世界中の工場稼働しているロボットのほとんどに弊社のOSが採用され、アプリケーションがダウンロードされている未来が広がると考えています。この様子は1990年代にマイクロソフト社が

高丸工業株式会社

専務取締役
高丸 泰幸 氏

〒662-0925
西宮市朝風町1-50 JFE西宮工場内
☎ 0798-38-9200



Windowsを世に出し、パソコンが一気に普及したのと似ています。弊社の目標は、『遠隔操作溶接ロボットシステム』のメーカーになることではなく、産業用ロボット操作のプラットフォームを構築することなのです。

マイクロソフト社のWindowsが、パソコン普及に貢献できた主な要因は、それまでと一線を画すほどの簡易な操作性があったから。この例に習えば「遠隔操作溶接ロボットシス

テム」も、セッティングから実行までの工程を今以上に簡易にしなければならない。

「未来につながる第一歩を踏み出した今、課題解決に向かって歩を進めるのみです」。

力強く泰幸さんは語る。その表情には未来への希望が輝いている。

融資活用コラム

運転資金や人材登用・教育の 資金確保に信用保証協会を利用

大学では経営学を学び、卒業後は約10年間大手金融機関に勤務した後、入社しました。前職時代に感じたことは、お金は経営のガソリンということです。2023年3月、経営改善借換保証「ぜんしん」を活用したのですが、信用保証協会の融資を活用できたということは信用をしてもらっている証しだと感じ、開発チーム一同、モチベーションが上がりました。



わが社の とっておき

産業用ロボットを扱うには「産業用ロボット特別教育講習」の受講が必須です。講習は、メーカー各社実施していますが、弊社は開催数、受講者数とも群を抜いています。さらに、高専などの生徒を対象とした出張授業も実施して、「未来の人材育成」にも取り組んでいます。



(単位：件、百万円、%)

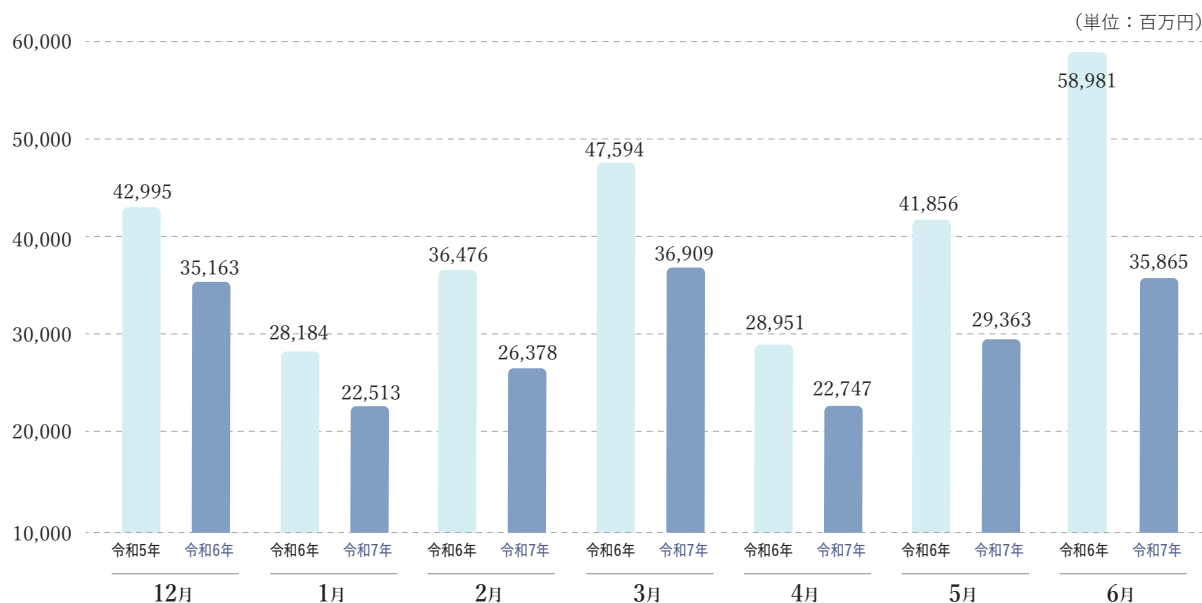
	当 月 中				当 期 中			
	件 数	前 年 比	金 額	前 年 比	件 数	前 年 比	金 額	前 年 比
保 証 申 込	2,197	64.5	38,621	51.6	5,943	77.0	96,558	62.8
保 証 承 諾	2,068	73.3	35,865	60.8	5,476	80.6	87,975	67.8
保証債務残高	—	—	—	—	125,204	100.7	1,635,446	95.9
代位弁済(元利)	225	83.3	2,407	77.0	543	88.7	6,195	92.5
実際回収(元損)	—	—	786	165.8	—	—	2,092	136.4

1 保証承諾

6月の保証承諾は2,068件(前年同月比26.7%減)、35,865百万円(同39.2%減)となり、前年同月と比べ、件数で754件、金額で23,116百万円下回った。

また、保証申込は2,197件(同35.5%減)、38,621百万円(同48.4%減)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

保証承諾(前年比較)



資金使途別

6月の保証承諾のうち、運転資金は33,943百万円(前年同月比40.8%減)となり、前年同月と比べ下回り、設備資金は792百万円(同20.9%増)となり、前年同月と比べ上回った。

業 種 別

6月の業種別保証承諾の状況は、サービス業5,612百万円(前年同月比19.1%減)、不動産業2,220百万円(同31.1%減)、小売業4,846百万円(同35.1%減)、飲食店1,064百万円(同40.4%減)、卸売業5,444百万円(同40.8%減)、建設業9,321百万円(同43.3%減)、運送・倉庫業1,763百万円(同44.4%減)、製造業5,209百万円(同49.8%減)で前年同月を下回った。

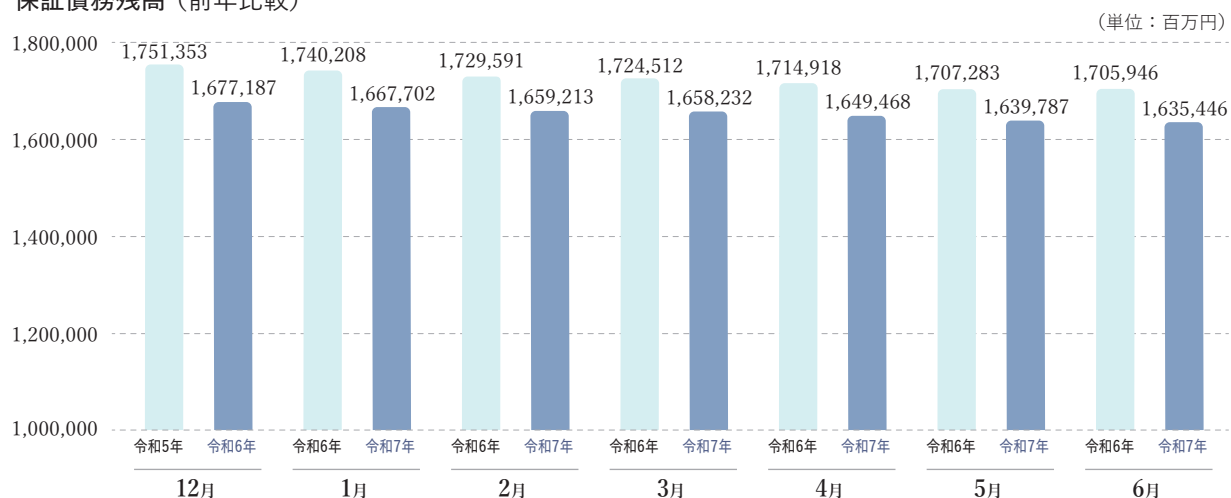
金融機関群別

6月の金融機関群別保証承諾の状況は、都市銀行548百万円(前年同月比17.1%増)、地方銀行3,866百万円(同1.0%増)で前年同月を上回り、第二地方銀行4,168百万円(同22.6%減)、信用金庫25,212百万円(同39.5%減)、信用組合2,065百万円(同72.9%減)等で前年同月を下回った。

2 保証債務残高

6月末の保証債務残高は、125,204件(前年同月比0.7%増)、1,635,446百万円(同4.1%減)となり、前年同月と比べ、件数は上回り、金額は下回った。

保証債務残高(前年比較)

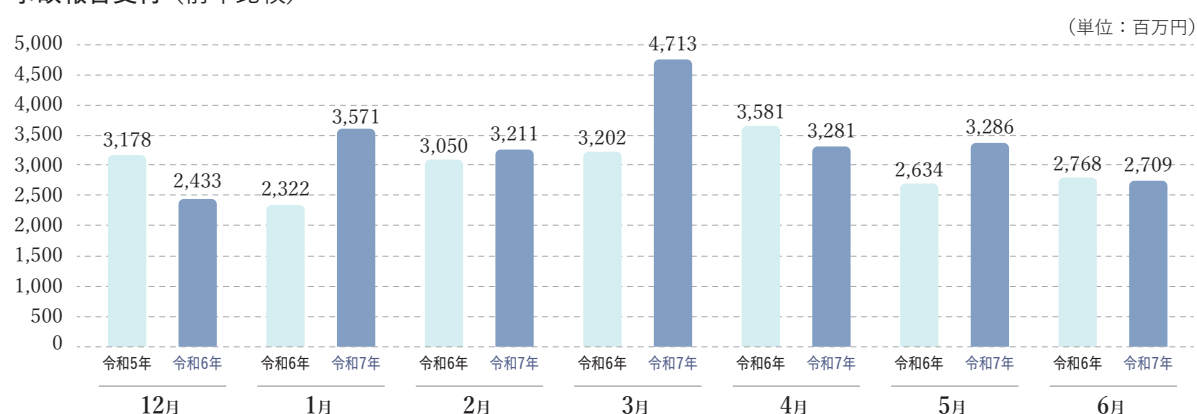


3 事故報告

6月の事故報告受付は、235件(前年同月比0.9%増)、2,709百万円(同2.1%減)となり、前年同月と比べ、件数は2件増加し、金額は59百万円の減少となった。

事故報告残高については、6月末で1,286件(同18.3%増)、15,216百万円(同30.5%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

事故報告受付(前年比較)

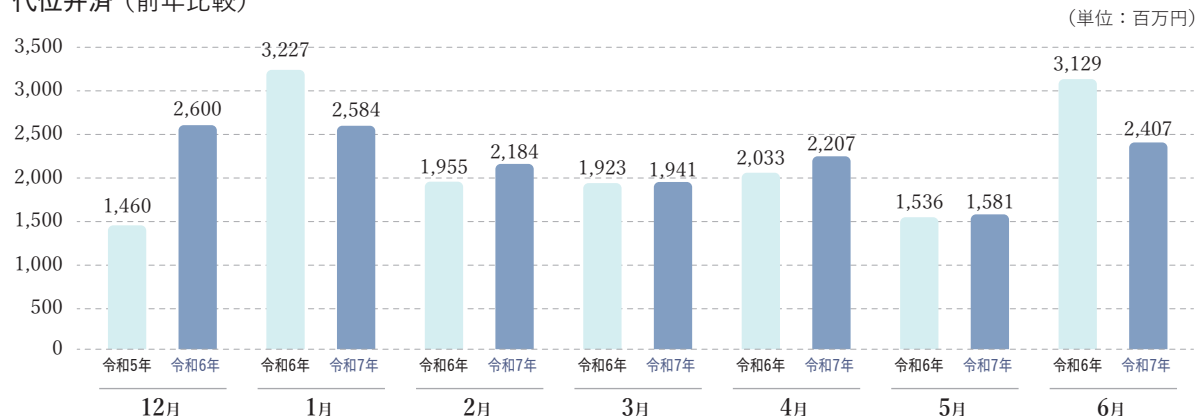


4 代位弁済

(元利)

6月の代位弁済は、225件(前年同月比16.7%減)、2,407百万円(同23.0%減)となり、前年同月と比べ、件数は45件減少し、金額は722百万円の減少となった。

代位弁済(前年比較)



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

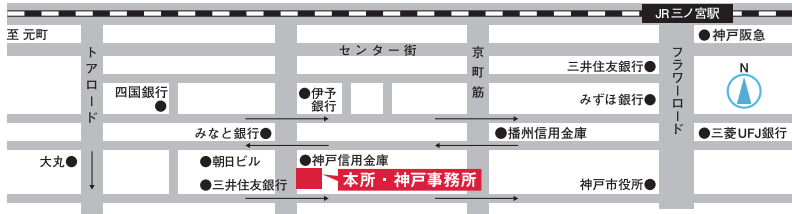
- ① 資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人（NPO法人）の場合は、従業員数（製造業等：300人以下、卸売業・サービス業：100人以下、小売業・飲食業：50人以下）が該当していること。
- ② 個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
- ③ 許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
- ④ 事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

兵庫県信用保証協会のネットワーク

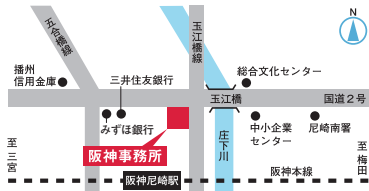
本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1
本 所：TEL 078-393-3900（代表）
神戸事務所：TEL 078-393-3909 [担当地域]神戸市



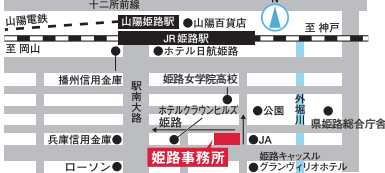
阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F
TEL 06-6411-4133（代表）
[担当地域] 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡



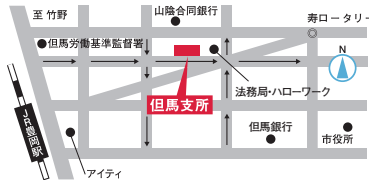
姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2
TEL 079-289-3611
[担当地域] 姫路市、相生市、赤穂市、粟粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡



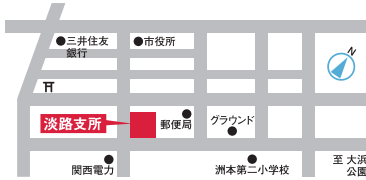
但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7
TEL 0796-22-5171
[担当地域] 豊岡市、養父市、朝来市、美方郡



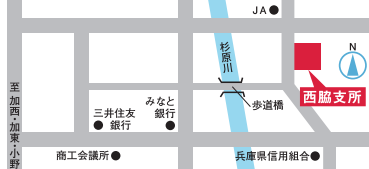
淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8
TEL 0799-22-4493
[担当地域] 洲本市、南あわじ市、淡路市



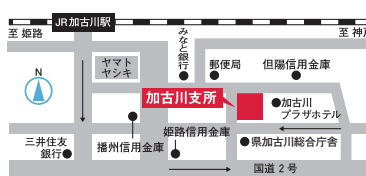
西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27
TEL 0795-22-6775
[担当地域] 西脇市、三木市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788
TEL 079-424-1105
[担当地域] 明石市、加古川市、高砂市、加古郡



暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。
第三者が介入・介入する申込はお断りします。

業 種	資本金	従業員数
製造業等 ※1	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※2	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業 旅館業	3億円以下 5,000万円以下	300人以下 200人以下
医療法人等	—	300人以下

※1 建設業、運送業、不動産業、旅行業を含みます。

※2 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

お客様総合相談室

本 所	大 瀧 室 長	TEL 078-393-3905
-----	---------	------------------

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経 営 支 援 部	岩 永 副 部 長	TEL 078-393-3920
神戸事務所	三 宅 副 所 長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	佐 藤 副 所 長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪神事務所	按 田 副 所 長	TEL 06-6411-4133
姫路事務所	中 元 副 所 長	TEL 079-289-3611
但馬支所	岩 崎 次 長	TEL 0796-22-5171
淡路支所	岩 川 次 長	TEL 0799-22-4493
西脇支所	兼 田 次 長	TEL 0795-22-6775
加古川支所	松 田 副 所 長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	岡 本 副 部 長	TEL 078-393-3914
-------	-----------	------------------

（上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます）

● 事業承継をお考えの皆さまへ

事業承継相談窓口 ☎ 078-393-3962
(経営支援部 再生発展支援課内)

● 女性企業家の皆さまへ

女性企業家相談窓口 ☎ 078-393-3910
(経営支援部 再生発展支援課内)

● これから事業を開始する皆さまへ

創業準備相談窓口 ☎ 078-393-3912
(経営支援部 再生発展支援課内)

● 事業経営全般に関する相談について

経営サポート相談窓口 ☎ 078-393-3969
(経営支援部 再生発展支援課内)

保証時報の送付について

ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします(送料は当協会が負担)。ご希望の方は総務企画部企画調整課(☎ 078-393-3922)までお申し出ください。

当協会はサンテレビの情報番組「あんてなサン」の番組スポンサーをしています



あんてなサン (サンテレビ)
毎週日曜日/22時~22時30分放送